



ColdFusion スペシャルトピック & よくあるご質問

サムライズ サポートセンターセッション

本当は怖いタイムアウト

スペシャルトピック

ColdFusionのタイムアウト

- リクエストタイムアウト
リクエストが指定時間以上完了しない場合に処理を中断しエラーを表示してリクエストを終了します。
- タグ・関数のタイムアウト
タグや関数の処理が指定時間以上完了しない場合に処理を中断し例外を投げるか、次の処理へ進みます。
- 起動・終了のタイムアウト
ColdFusionの起動や終了が指定時間以上完了しない場合に処理をそこで中断します。

リクエストタイムアウト

リクエストタイムアウト

ColdFusion Administratorで設定した値より処理に時間がかかると、中断されてリクエストタイムアウトとなります

アクセスしている Web サイトに予期しないエラーが発生しました。
Web サイト管理者に連絡してください。

次の情報は、Web サイト開発者のデバッグに役立ちます。

リクエストを処理する際に、エラーが発生しました。

リクエストは時間制限タグを越えました :cfoutput

エラーの発生位置 C:/ColdFusion2016/cfusion/wwwroot/timeout.cfm: line 6

4 : </cfscript>

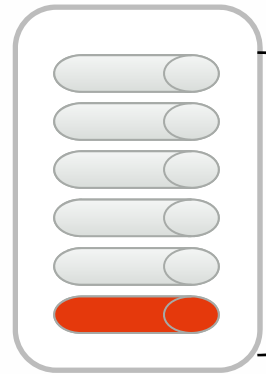
5 : <cfset a=1>

6 : <cfoutput></cfoutput>

情報源 :

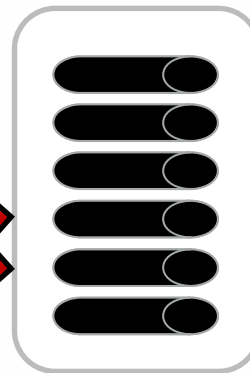
リクエストタイムアウトが 起こらないと？

イメージ図



同時テンプレート処理数

処理が完了しないリクエストが溜まっていくと…



処理中のリクエストで
全て埋まってしまう

同時テンプレート処理数に空きが無い
ため、新しいリクエストの処理が行われない
= ColdFusionがハングする！！

**リクエストタイムアウトを設定
することを強くお勧めします！**

リクエストタイムアウトの設定

■ ColdFusion Administratorで設定

サーバーの設定 > 設定

リクエストタイムアウト 秒

チェックボックスをオンにすると、指定の時間を超えたリクエストは終了されます。これにより、非常に長いリクエストがサーバーリソースを占有したり、他のリクエストのパフォーマンスに悪影響を与えないようにすることができます。

■ cfsettingタグのrequesttimeout属性でオーバーライド <cfsetting RequestTimeout = "3600">

※URLパラメーターの「?RequestTimeout=**」は廃止されています

**リクエストタイムアウトの設定
だけでは不十分です！**

リクエストタイムアウトの判定

特定のタグの実行時にタイムアウトの判定が行われます。

※どのタグがタイムアウト判定を行うタグなのかは公開されていません。

```
<cfscript>  
Sleep(200000);  
</cfscript>  
<cfset a=1>  
<cfoutput></cfoutput>
```

200秒(処理中はタイムアウトしない)

タイムアウトチェックをしないタグ

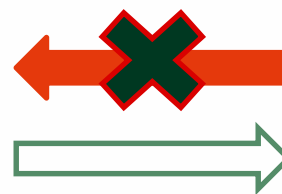
タイムアウトチェックをするタグ

cfqueryでレスポンスが返ってこないと…

```
<cfquery datasource="oracle">  
  UPDATE LIST  
  SET NAME = 'Samuraiz'  
  WHERE ID = 1  
</cfquery>  
<cfoutput>完了</cfoutput>
```

cfqueryの処理中はタイムアウトしない

タイムアウトはここで判定

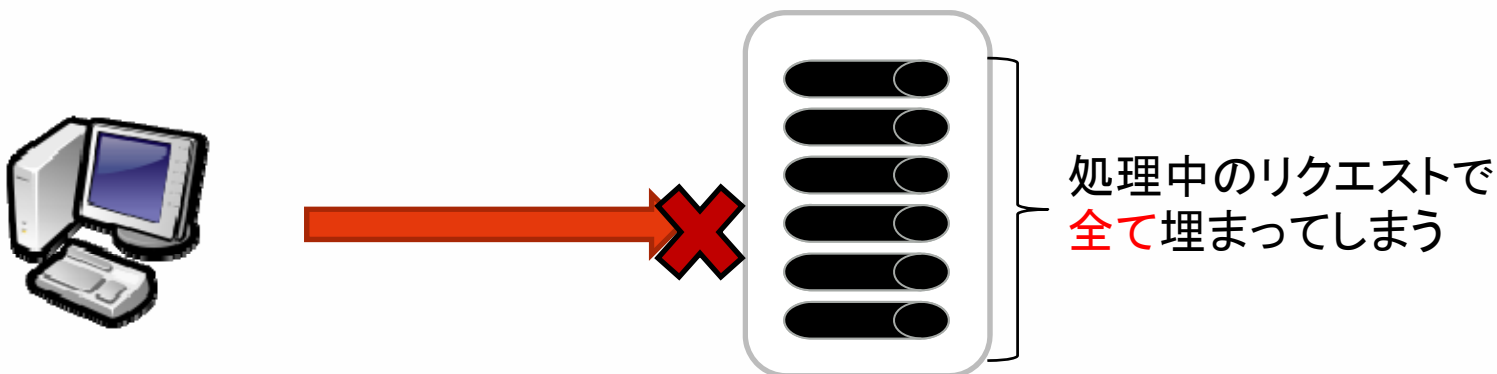


ロック中…

リクエストタイムアウトを設定していても
判定までたどり着かず、**リクエストタイムアウトにならない!**

つまりタグや関数の実行が終わらないと…

- リクエストはずっと実行中のまま残ってしまいます。
- 実行中のまま残っているリクエストが積み上がると、



ColdFusion全体が応答を返さなくなる可能性があります。

- つまり、タグや関数がタイムアウトしないと危険です。
- タイムアウト値を指定しないと、タグや関数がタイムアウトしない場合もあります。

タイムアウトのあるタグ・関数

要注意タグ・関数①

- cfhttpタグ・ cffeedタグ

デフォルト値はリクエストタイムアウトの設定値

timeout属性とリクエストタイムアウトのどちらか短い方が適用

cfsettingタグでリクエストタイムアウトを延長すれば延長可能

- WEBサービス (cfinvokeタグ・ createobject関数)

デフォルト値は0 (タイムアウト無し)

※ cfobjectタグはタイムアウト設定無し

- cfthreadタグのaction="join"・ ThreadJoin関数

デフォルト値は0 (タイムアウト無し)

- cflockタグ

timeout="0" ならタイムアウト無し (timeout属性必須)

要注意タグ・関数②

■クエリー

詳細設定を閉じる

接続文字列

接続数の制限 制限数

接続の維持 - クライアントのリクエスト全体にわたり、接続を維持します。

プールされるステートメントの最大数

タイムアウト (分) 間隔 (分)

クエリータイムアウト (秒)

デフォルト値は0 (タイムアウト無し)

データソースの詳細設定の「クエリータイムアウト」で設定

※ 「タイムアウト」ではありません！！

cfquery・queryexecute等のtimeoutでオーバーライド可能

一応気に留めておくべきタグ

- メール (cfmailタグ・cfimapタグ・cfpopタグ)
デフォルト値は60秒
cfmailタグはColdFusion Administratorでも設定可能
- cfldapタグ
デフォルト値は60秒
- cfftpタグ
デフォルト値は30秒

- cfexecuteタグ
デフォルトは非ブロックモード
- cfreportタグ
Crystal Report使用時のみ

一応気に留めておくべきもの

- PDFサービス

cfhtmltopdfタグのPDF変換処理のタイムアウト
デフォルト値は60秒

<cf_install_root>/<CF Instance>/jetty/webapps/
PDFgServlet/WEB-INF/web.xml の「
waitingQueueTimeout」

- setCFCTimeout

イベントゲートウェイ用

デフォルト値はリクエストタイムアウトの設定値

- onServerStartメソッド

Application.cfcに実装するメソッド

- EntityLoad・ジオロケーション

- WebSocket

Enterprise限定
サーバーモニターの使い方

ハングしてしまった場合の対処

監視の有効化

「監視を有効にする」にチェックを入れることで長時間未完了になっているリクエストの検出などが可能になります。

サーバー監視/設定

監視を有効にする

チェックを付けると、監視が有効になります。チェックを解除すると、監視が無効になります。

プロファイリングを有効にする

チェックを付けると、プロファイリングが有効になります。チェックを解除すると、プロファイリングが無効になります。

メモリアッキングを有効にする

チェックを付けると、メモリアッキングが有効になります。チェックを解除すると、メモリアッキングが無効になります。

監視サーバー設定

監視サーバーを有効にする

チェックを付けると、独立した監視サーバーが有効になります。チェックを解除すると、独立した監視サーバーが無効になります。

サーバーモニタの起動

ColdFusion Administratorの ColdFusion サーバーの監視 > サーバーモニタ から起動

ColdFusion サーバーの監視 > サーバーモニタ

サーバーモニタは、ColdFusion サーバーのオペレーションに関する情報を提供する Adobe Flash アプリケーションです。サーバーモニタを使用するには、Adobe Flash Player 9 をインストールしておく必要があります。

サーバーモニタの上部のボタンを使用して、次の操作を行えます。

監視を開始 - すべての監視をオンにします。

プロファイリングを開始 - すべてのタグ、関数、およびクエリー実行時間の監視をオンにします。

メモリトラッキングを開始 - さまざまなスコープでのメモリトラッキングをオンにします。プロファイリングもオンの場合は、個々のタグ、関数およびクエリーで使用するメモリがトラッキングされます。

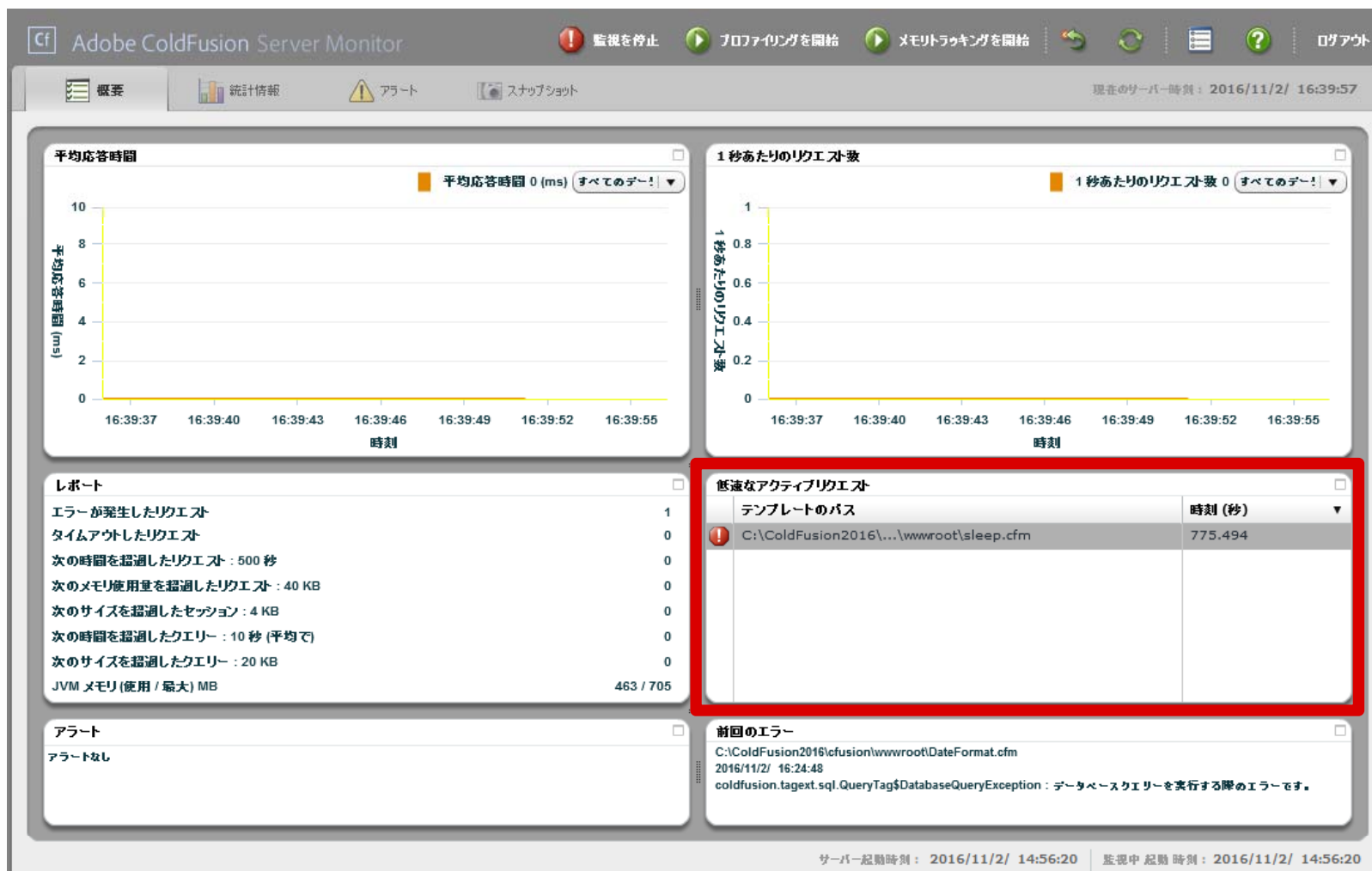
サーバーモニタに表示されるメモリ使用量の情報は予測値なので、実際のメモリ使用量とは異なる場合があります。この情報は、絶対的な測定値としてではなく指標として使用してください。

サーバーモニタを起動するには、右側のボタンをクリックします...

サーバーモニタの起動

**「同時テンプレートリクエスト数」を使い切っても、
ColdFusion Administratorは別枠扱いで操作が可能です。
(Enterprise版のみ)**

リクエストの強制終了



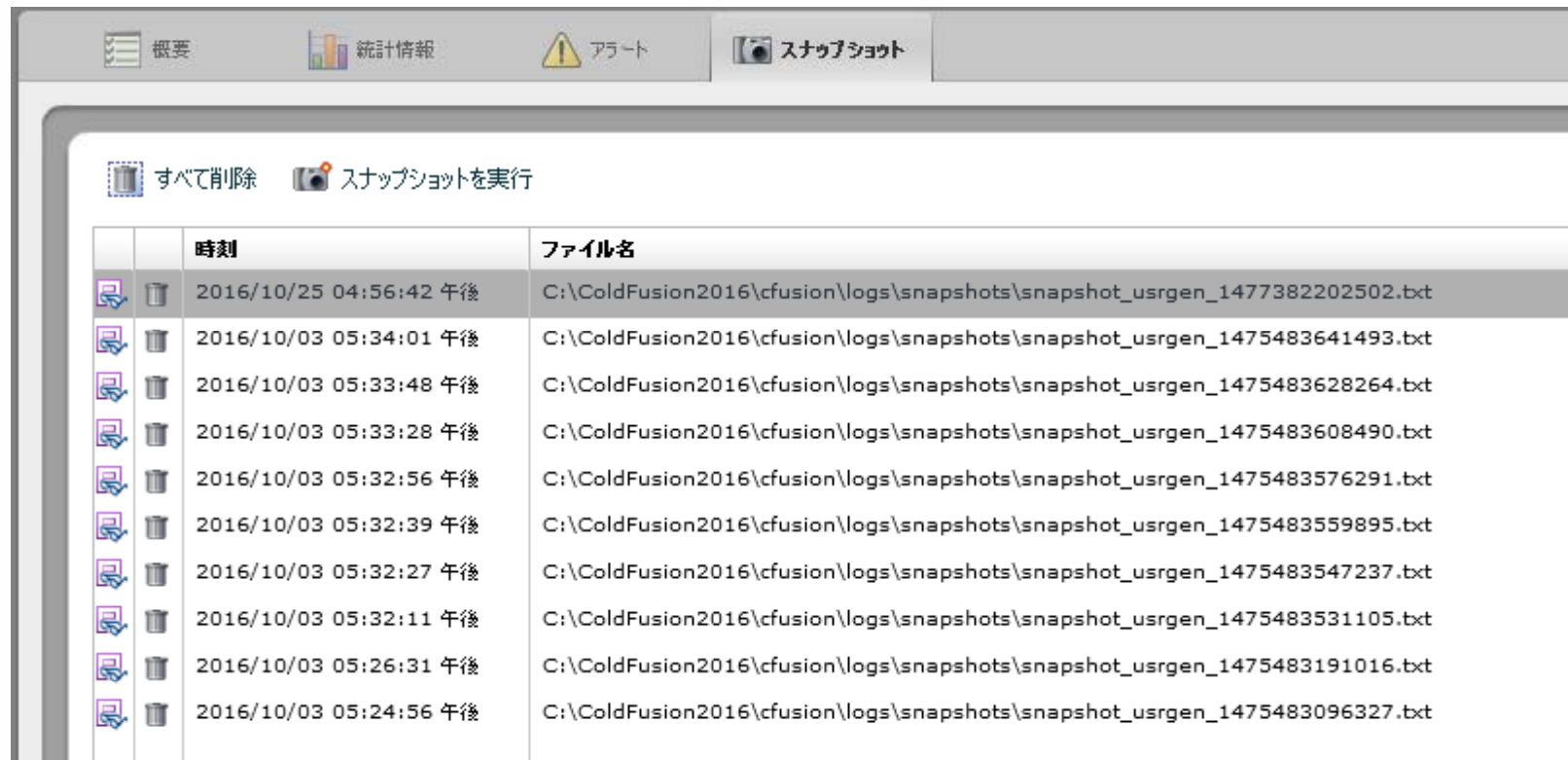
アラートを上げる





















The screenshot shows the 'Alert Settings' page in the Adobe ColdFusion Server Monitor. The page title is 'アラートの設定' (Alert Settings). The left sidebar contains 'アラート' (Alerts) and 'アラートの設定' (Alert Settings). The main content area has tabs for '無応答サーバー' (Unresponsive Server), '低速サーバー' (Slow Server), 'JVM メモリ' (JVM Memory), 'タイムアウト' (Timeout), and '電子メールの設定' (Email Settings). The '無応答サーバー' tab is selected. The text below the tabs reads: '[ハングしているスレッド数]に指定した数のスレッドが、[ビジー スレッド時間]より長く実行された場合、サーバーは無応答とみなされます。' (If the number of threads hanging reaches the specified number, and the busy thread time is longer than the specified time, the server is considered unresponsive). The settings are as follows:

- 有効化 (Enabled)
- クライアントに通知 (Notify Client)
- イベント**
 - ハングしているスレッド数: 8
 - ビジー スレッド時間: 60 (秒)
- アクション**
 - 電子メールを送信。
 - スナップショットをダンプ。
 - 次の実行時間を超過したスレッドをキル: 60 (秒)
 - 新しいリクエストをすべて拒否。
- 処理を行う CFC:

メモ: アラート CFC には、onAlertStart() と onAlertEnd() の 2 つの関数が必要です。これらの関数は引数として構造体を取ります。値は返しません。

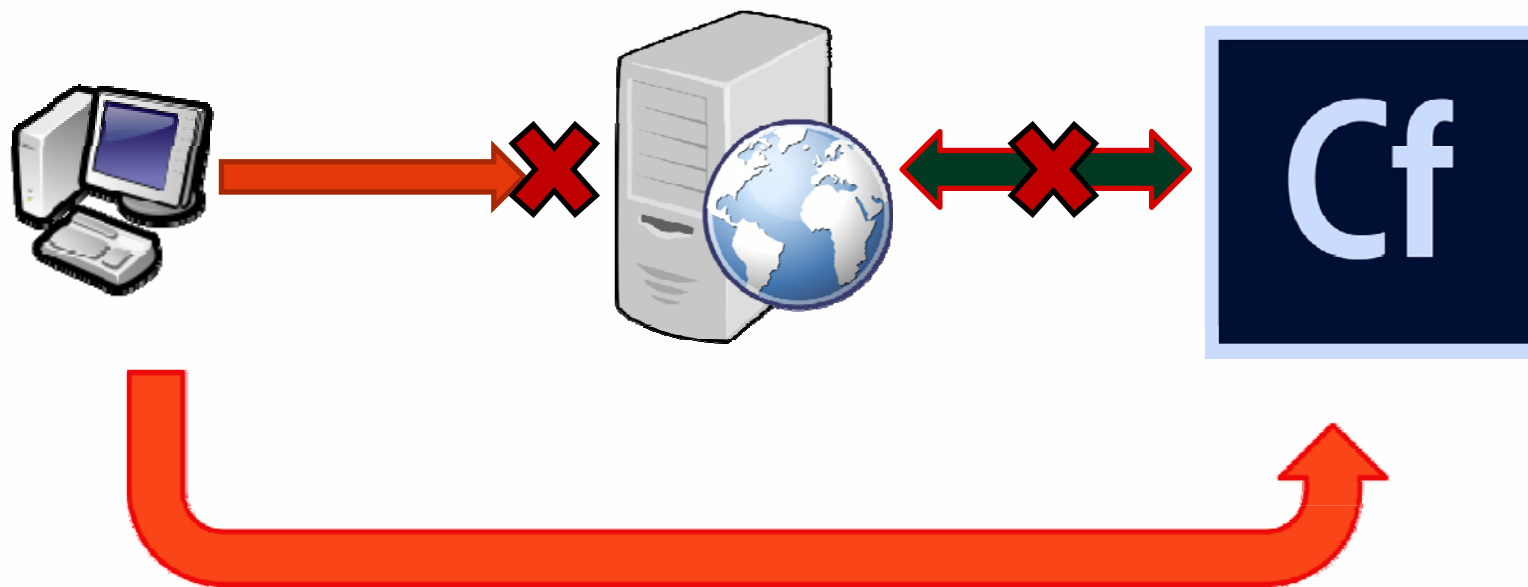
スレッドダンプの取得



| | 時刻 | ファイル名 |
|---|------------------------|--|
|   | 2016/10/25 04:56:42 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1477382202502.txt |
|   | 2016/10/03 05:34:01 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483641493.txt |
|   | 2016/10/03 05:33:48 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483628264.txt |
|   | 2016/10/03 05:33:28 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483608490.txt |
|   | 2016/10/03 05:32:56 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483576291.txt |
|   | 2016/10/03 05:32:39 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483559895.txt |
|   | 2016/10/03 05:32:27 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483547237.txt |
|   | 2016/10/03 05:32:11 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483531105.txt |
|   | 2016/10/03 05:26:31 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483191016.txt |
|   | 2016/10/03 05:24:56 午後 | C:\ColdFusion2016\cfusion\logs\snapshots\snapshot_usrgen_1475483096327.txt |

確実にサーバーモニタを起動するための設定

別の入口を確保しておくことで確実にサーバーモニタを起動することができます



確実にサーバーモニタを起動するための設定①

内蔵WEBサーバーを有効化しておく

設定ファイル

cfusion¥runtime¥conf¥server.xml

```
<!-- internal webserver start-->  
<Connector port="8500" protocol="HTTP/1.1"  
connectionTimeout="20000" redirectPort="8447" maxThreads="150"/>  
<!-- internal webserver end-->
```

<!-- internal webserver start--> と
<!-- internal webserver end--> の間の行を有効化

確実にサーバーモニタを起動するための設定②

ColdFusion サーバーの監視 > 監視設定 で
「監視サーバーを有効にする」にチェックを入れておく

サーバー監視/設定

監視を有効にする

チェックを付けると、監視が有効になります。チェックを解除すると、監視が無効になります。

プロファイリングを有効にする

チェックを付けると、プロファイリングが有効になります。チェックを解除すると、プロファイリングが無効になります。

メモリトラッキングを有効にする

チェックを付けると、メモリトラッキングが有効になります。チェックを解除すると、メモリトラッキングが無効になります。

監視サーバー設定

監視サーバーを有効にする

チェックを付けると、独立した監視サーバーが有効になります。チェックを解除すると、独立した監視サーバーが無効になります。

※サーバーモニターを起動してブックマークしておいてください

ここまでのまとめ

- リクエストがタイムアウトしないとColdFusionがハングする可能性があります。
- リクエストタイムアウトだけでなく、タグ・関数のタイムアウトも適切に設定することをお勧めします。
- リクエスト未完了が原因のハングのリカバリーや原因究明にはサーバーモニタが有効です。

ColdFusionの起動・停止の タイムアウト

ColdFusionの起動タイムアウト (Windows)

Windowsではイベントログ (アプリケーション) にイベント ID261 及び263が記録されて起動に失敗することがあります



イベント 261, ColdFusion 10 Application Server

全般 詳細

ソース "ColdFusion 10 Application Server" からのイベント ID 261 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカルコンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカルコンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。

イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。

イベントには次の情報が含まれています:

ColdFusion 10 Application Server
60
C:\ColdFusion10\cfusion\bin\coldfusionsvc.exe
ColdFusion 10 Application Server

| | | | |
|-------------|------------------------------|--------------|---------------------|
| ログの名前(M): | アプリケーション | | |
| ソース(S): | ColdFusion 10 Application Se | ログの日付(D): | 2016/07/22 17:45:03 |
| イベント ID(E): | 261 | タスクのカテゴリ(Y): | なし |
| レベル(L): | エラー | キーワード(K): | クラシック |

ColdFusionの起動タイムアウト（Windows）

coldfusionsvcコマンドでタイムアウト時間を設定できます。
600秒に設定するコマンド例

```
cfusion¥bin¥coldfusionsvc.exe -starttimeout 600 "ColdFusion xx Application Server"
```

※管理者権限で実行する必要があります。

※ "ColdFusion xx Application Server" は実際のサービス名に
合わせてください。

OS起動時に発生する場合はサービスの遅延起動も有効です。

ColdFusionの停止タイムアウト（Windows）

ColdFusionの停止に時間がかかると、サービス停止コマンドが終了してもColdFusion自体の停止は未完了の場合があります。この場合はイベントID257及び263のイベントが記録されます。

停止が完了しない内にColdFusionを起動しようとすると、ポート競合が発生して起動に失敗します。

対策：

```
cfusion¥bin¥coldfusionsvc.exe -stoptimeout 600 "ColdFusion xx Application Server"
```

- ・ 停止操作と起動操作の間にウェイトを入れる
- ・ プロセスの停止を確認してから起動する

参考：イベントIDとイベント内容対応表

| イベントID | 内容 |
|--------|---|
| 3 | ColdFusionが起動しました。 |
| 4 | ColdFusionが停止しました。 |
| 257 | ColdFusionのサービスが強制終了されました。詳細はログを参照してください。 |
| 259 | ColdFusionの起動に失敗しました。詳細はログを参照してください。 |
| 261 | ColdFusionの起動がタイムアウトしました。 |
| 263 | ColdFusionのサービスがプロセスを強制終了しました。 |

cronによるColdFusionの再起動失敗（Linux）

Linux環境でcronを利用して定時に再起動を行っているとColdFusionの再起動に失敗することがあります。

原因：停止に時間がかかりすぎるとsudo kill -9で強制終了しますが、cronではsudoコマンドを実行できないため失敗します。

```
if [ "$IS_RUNNING" = "true" ]; then
  if [ $OS = "Solaris" -a ! -f "/usr/ucb/ps" ]; then
    $PSCMD | fgrep java | fgrep $CF_DIR | awk '{print $2}' | xargs kill -9 > /dev/null 2>&1
  else
    # other platforms have only the executable name
    $PSCMD | fgrep java | grep -v grep | grep com.adobe.coldfusion.bootstrap.Bootstrap | grep "start" | grep -
w $CF_DIR | awk '{print $2}' | sudo xargs kill -9 > /dev/null 2>&1
  fi
  sleep 2
fi
```

cronによるColdFusionの再起動失敗（Linux）

対策①：

cronでsudoを実行できるようにする

※セキュリティ上問題が無いかどうかを十分に検討してください

対策②：

停止に失敗した場合を想定したスクリプトを書く

- ・ 停止失敗検知
コマンドの返回值（失敗時は1）
プロセスの存在確認等
- ・ 停止失敗時の対処
しばらく待ってプロセスが消えたことを確認したら起動させる

ここ1年間のお問い合わせからピックアップ

よくあるご質問

よくあるご質問

- リクエストキュータイムアウトのエラーページ指定
- CGI.PATH_INFOの仕様変更
- スプレッドシート読み込みの仕様変更
- Webサービスのバージョン指定
- SSLを使用する際の注意
- ColdFusion Administratorのパスワードリセット
- データベースドライバのロールバック
- プリンター関連のトラブル
- クライアント変数の削除タイミング

リクエストキュータイムアウト

ColdFusion 11 Update 8以降で「リクエストキュータイムアウト」に.cfmを設定すると、ColdFusionが起動しなくなります！

起動しなくなった場合の対処：

```
java -jar cfusion\hf-updates\hf-11-000**\uninstall\uninstaller.jar
```

※必ず管理者権限で実行してください！

- neo-runtime.xml を手動で編集

※リクエストキュータイムアウトに.cfmを指定しても意味がありませんので.htmlなどを指定してください。

※Update 11で対策予定です。

CGI.PATH_INFOの仕様変更

http://example.com/hoge/fuga.cfm

- ColdFusion 8以前
CGI.PATH_INFO.../hoge/fuga.cfm
CGI.SCRIPT_NAME.../hoge/fuga.cfm
- ColdFusion 9（累積アップデート適用）以降
CGI.PATH_INFO...空
CGI.SCRIPT_NAME.../hoge/fuga.cfm

CGI.PATH_INFOを使っていた場合は代わりに
CGI.SCRIPT_NAMEを使ってください。

参考：CGI変数の仕様

```
http://{SERVER_NAME}:{SERVER_PORT}  
{SCRIPT_NAME}{PATH_INFO}?{QUERY_STRING}
```

```
http://example.com/hoge/fuga.cfm/piyo?hogera
```

```
CGI. SCRIPT_NAME.../hoge/fuga.cfm
```

```
CGI. PATH_INFO.../piyo
```

```
CGI. QUERY_STRING...hogera
```

CGI.PATH_INFOはファイル名の後ろに更にURIが続いている場合にそれを取得するためのものです。

スプレッドシート読み込みの仕様変更

ColdFusion 2016でシートを指定して読み込んだ場合の挙動が変更されています。

```
<cfspreadsheet action="read" src="test.xls" name="theSheet" sheetname="sheet" >
```

~~~~シート操作~~~~

```
<cfspreadsheet action="write" filename="test_out.xls" name="theSheet" >
```

ColdFusion 11以前…全てのシートが保存される

ColdFusion 2016…指定したシートのみが保存される

※SpreadsheetRead関数とSpreadsheetWrite関数も同様です



# スプレッドシート読み込みの仕様変更

## ColdFusion 2016のコード例

<!---- シートを指定せずに全体を読み込みます。 --->  
<cfspreadsheet action="read" src="test.xls" name="theSheet" ~~sheetname="sheet"~~>

<!---- SpreadsheetSetActiveSheet関数で操作するシート名を指定します。 --->  
<cfset SpreadsheetSetActiveSheet(theSheet, "サンプル")>

<!---- SpreadsheetSetActiveSheetNumber関数で番号指定もできます。 --->  
<cfset SpreadsheetSetActiveSheetNumber(theSheet,1)>

~~~~シート操作~~~~

<!---- 最初のシートを操作対象に指定してから保存します。 --->
<cfset SpreadsheetSetActiveSheetNumber(theSheet,1)>
<cfspreadsheet action="write" filename="test_out.xls" name="theSheet" >

Webサービスのバージョン指定

データとサービス > Web サービス

ColdFusion を使用して Web サービスを登録できます。そのため、

Web サービスのバージョン

Web サービスのバージョンを選択 2 ▼

Web サービスのバージョンを更新

この指定はColdFusionがサーバー側になる場合の設定です。
ColdFusionがクライアントになる場合のバージョンは
Application.cfcで指定します。

Application.cfc

```
<cfset this.name="webservice">  
<cfset this.wssettings.version.consume="1">
```

※Application.cfmでは設定できません！

SSLを使用する際の注意

SSLを使用すると通信に失敗する場合は、ルート証明書をJavaのキーストアにインポートするとうまくいくことがあります。

```
C:¥ColdFusion**¥jre¥bin>keytool -importcert -keystore C:¥ColdFusion**¥jre¥lib  
¥security¥cacerts -file rootca.cer -storepass changeit
```

※ 1行のコマンドです。

※ 「changeit」はデフォルトパスワードです。

※ ColdFusionが使用するJavaを変更している場合はそのJavaのキーストアにインポートする必要があります。

※ ColdFusionが使用するJavaを変更した場合も、同様に再度インポートが必要です。

Administratorのパスワードリセット

ColdFusion 10以降にはパスワードをリセットするスクリプトが用意されています。

cfusion¥bin¥passwordreset.bat を**管理者権限**で実行し、

```
C:¥ColdFusion2016¥cfusion¥bin>passwordreset.bat
Enter 1 for changing Admin Password and 2 for changing Admin Component(jetty) password :
1
Enter new Admin Password :

Confirm new Password :

Enter new RDS Password :

Confirm new Password :

Your Admin and RDS password has been reset. Re-start the server to reflect the changes.
```

最初に「1」を入力して指示に従います。
実行後、**ColdFusionを再起動**します。

データベースドライバのロールバック

Update適用後にデータベース関連のトラブルが発生するようになった場合、以前のデータベースドライバを使用すると正常に動作する場合があります。

データベースドライバは `macromedia_drivers.jar` です。

Update適用前のデータベースドライバは
`cfusion/hf-updates/hf-**-000**/backup/lib`
にバックアップされていますので、
`cfusion/lib/macromedia_drivers.jar` と置き換えます。

※元のファイルは手動でバックアップしておいてください

プリンター関連のトラブル (Windows)

Q. デフォルトプリンタを設定する方法が分からない。

A. デフォルトプリンタはColdFusionの実行ユーザーの設定が使用されます。

ColdFusion用のユーザーを作成してコントロールパネルでデフォルトプリンタを設定し、ColdFusionのサービスをそのユーザーで実行するように設定します。

Q. オフラインのプリンタにジョブを送信できない。

A. Java 7以前に存在するバグです。

Java 8を使用してください。

クライアント変数を破棄するタイミング

クライアント変数をデータベースやレジストリに格納している場合に、古いクライアント変数を破棄する処理が一定間隔で実行されます。

破棄の間隔

このオプションは、ColdFusion がクライアントストアで破棄オペレーションを実行する頻度を制御します。クライアントストアを破棄するように設定してある場合は、これはオペレーションが実行されるレートです。デフォルトでは 1 時間 7 分になります。30 分未満にはしないでください。

1 時間 7 分

適用

破棄の間隔にはColdFusionが停止している時間はカウントされません。

起動後から一定時間が経過した時点で破棄が実行されます。

サポートセンターセッションは以上となります。

ご清聴ありがとうございます。